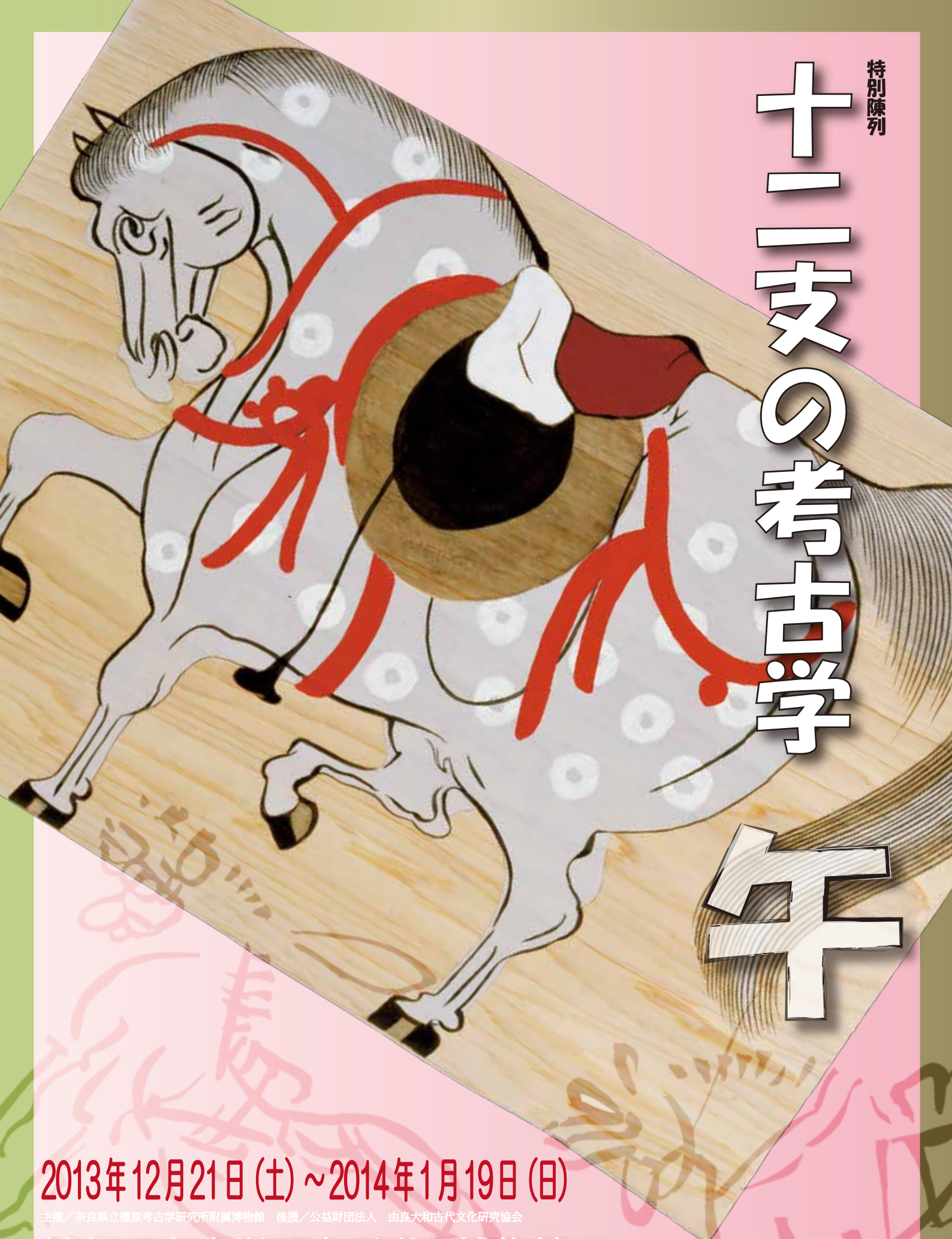


特別陳列

十二支の考古学

午



2013年12月21日(土)~2014年1月19日(日)

主催/奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 後援/公益財団法人 由良大和古代文化研究協会

奈良県立 橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE
●〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町 50-2 ●Tel 0744-24-1185 ●Fax 0744-24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>

絵馬 奈良市日笠フシダ遺跡/復原 (当研究所蔵)
板絵の一部 橿原市一町西遺跡 (当研究所蔵)

特別陳列

「十二支の考古学 一午一」

うま

主催/奈良県立橿原考古学研究所附属博物館 後援/公益財団法人 由良大和古代文化研究協会

年末年始の恒例展示「十二支の考古学」も今年で9回目を迎えます。今年度は、平成26年の干支「午(うま)」をテーマに特別陳列を開催いたします。

馬は、更新世の日本列島にはいましたが、その後絶滅したようで、いわゆる『魏志倭人伝』にも馬がいなかったと記されています。古墳時代になると馬が普及し始め、乗り物、軍用、農耕、運搬などで広く利用されていきます。また、神聖な存在として神社に奉納されるなど、人々の生活に欠かせない存在となっていました。展示では、馬と人々との関わり合いについて、考古資料からご紹介します。



杏葉・鏡板 三重県津市高茶屋大塚古墳 (当館保管)



絵馬 (復原) 奈良市日笠フシダ遺跡 (当研究所蔵)



十二支像午像 (拓本) 史跡 慶州 金庾信墓 (当研究所蔵)

主な展示品

名称	出土地・所在地	所蔵・保管
巴像 (拓本)	史跡 慶州 金庾信墓	韓国慶北慶州市
金銅装馬具	高茶屋大塚古墳	三重県津市
金銅装鞍金具 (複製)	史跡 藤ノ木古墳	斑鳩町
鐘形杏葉	県史跡 三里古墳	平群町
木製鞍 (複製)	百舌鳥陵南遺跡	大阪府堺市
土馬	特別史跡 藤原宮跡	橿原市
墨書人面土器	樟田遺跡	大和郡山市
銅鈴	一ノ谷遺跡	奈良市
素文鏡	一ノ谷遺跡	奈良市
絵馬 (複製)	日笠フシダ遺跡	奈良市
板絵 (複製)	一町西遺跡	橿原市

■ 講演会 (入場無料)

日時: 2014年1月13日(月・祝) 13時から(12時開場)

場所: 奈良県立橿原考古学研究所講堂

菅谷文則(当研究所所長)「海軍工廠で消滅した高茶屋大塚古墳」

持田大輔(当研究所)「三重県津市高茶屋大塚古墳の馬具について」

重見 泰(当博物館)「資料紹介～新羅の十二支像～」

■ 工作教室「吉野杉で絵馬を作ろう」(参加費無料・事前申込)

日時: 2013年12月21日(土) 9時30分より受付

① 10時～12時 ② 13時～15時/各回30名

場所: 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

講師 成瀬匡章氏(森と水の源流館)

※ 対象 小学生以上

※ 応募方法 往復はがきに、住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・希望時間を記載の上、下記の宛先までお送りください。一枚の往復はがきで複数名応募可能です。応募多数の場合、抽選とします。

〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町50-2 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館「絵馬を作ろう」係

※ 締め切り 2013年12月13日(金) 必着

■ 見どころ解説

日時: 2014年1月13日(月・祝) 10時30分から

場所: 特別展示室(入館料が必要です。)

休館日

月曜日(ただし12月23日・1月13日は開館)

年末年始(12月28日～1月4日)

12月24日(火)・1月14日(火)

開館時間

9時～17時(入館は16時30分まで)

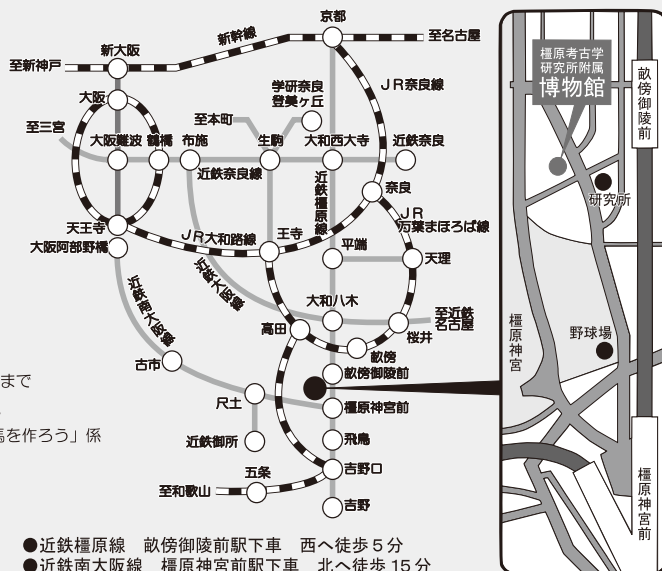
入館料

大 人 400円(350円)

高校・大学生 300円(250円)

小・中学生 200円(150円) ※ ()内は20名以上の団体料金

●65歳以上の方、外国人観光客および付き添いのボランティアガイドの方、障害者手帳をお持ちの方、およびその付き添いの方1名は無料。●期間中の土曜日は県内の小・中・高・特別支援学校生は無料。●小学生未満は無料。



●近鉄橿原線 畝傍御陵前駅下車 西へ徒歩5分
●近鉄南大阪線 橿原神宮前駅下車 北へ徒歩15分

次回展示のお知らせ

特別陳列 東海地方からの新しい風 ～古墳出現期の東海系遺物～
特別陳列 高く大きい「出雲大社」展

2014年2月1日(土)～3月16日(日)

2014年2月8日(土)～3月23日(日)